

乗用トラクターの事故を防止するために

路肩に気をつけよう

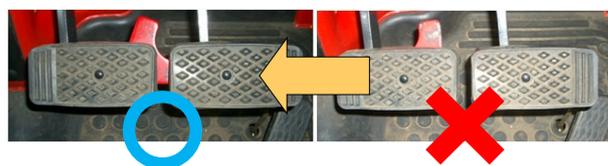
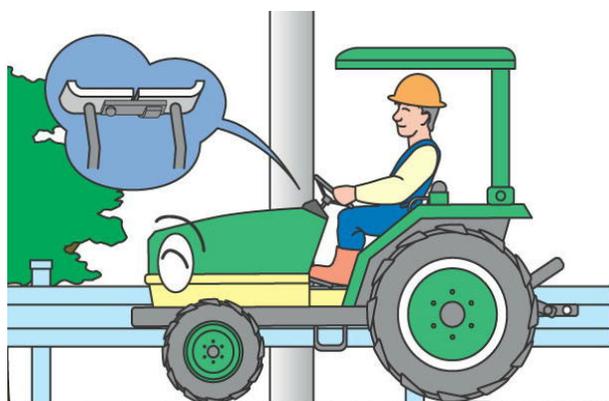


路肩が分るように、常時草刈り実施

転倒、転落による死亡事故の殆どがほ場や農道で発生しており、路肩は危険がいっぱいです。

1. 路肩が分るように、草刈りをしたり、目印を立てたりします。
2. 前後輪の内輪差を考えて、カーブを曲がります。
3. ほ場の出入口の傾斜方向に対し平行に進入します。

道路走行時の左右ブレーキ連結



トラクターのブレーキは、左右別々に利くので小回りができ便利ですが、連結操作を忘れるとほ場の入りや道路走行時に、片ブレーキを誤操作して転倒する事故が多く発生しています。

下記の前には左右ブレーキを忘れずに連結しましょう。

1. 圃場へ出入りする。
2. 道路走行する。
3. 傾斜地作業する。
4. 畔を乗り越える。
5. トラック等へ積み込む。

作業機の下は危険



トラクター運転作業中に作業機から異音がすると、慌てて機械の中や下をのぞきこみたくなりますが、非常に危険です。安全な状態にして点検調整を行きましょう。

点検調整の前には、必ず以下の操作をします。

1. 作業機を上げます。
2. 昇降部の油圧ロックを掛けます。
3. 駐車ブレーキを掛けます。
4. エンジンを切ります。
5. ブロック等を作業機の下に入れ支えにします。

《追加のヒント》

1. 一部のトラクターは、エンジンを止めると自然に油圧が下がる構造になっています。注意が必要です。
2. 傾斜や段差があるとトラクターが勝手に走り出すことがあり前後にも注意が必要です。